



【特集】

パーパスの実践により社会や顧客に貢献する「Resonac Pride製品・サービス」

「Resonac Pride製品・サービス」の考え方

レゾナックは、先端材料パートナーとして時代が求める機能を創出することでグローバル社会の持続可能な発展に貢献し、「人々の幸せと豊かさ」「地球との共生」を実現することを目指しています。実現に向けては、バリューチェーンの川上から川下まで幅広い領域で提供している当社の製品・サービスが、顧客や社会にどのような価値を、どのくらい提供することができたかを可視化することが重要だと考えています。

統合にあたり、旧昭和電工グループで実践していた「SDGs貢献製品」を「Resonac Pride製品・サービス」として一新し、今まで以上に顧客や社会への貢献をグループとして重視していきます。

認定にあたっては、パーパスに基づき社会を変えることで顧客や社会に提供した価値や当社が大切にしている4つのバリューの発揮の妥当性、製品環境アセスメント・レピュテーションなどのリスク評価、売上計画やシェアなどの将来性・インパクト、世界共通のゴール (SDGs) との関連性などの観点で第三者の視点を入れ評価していきます。

認定するための主な確認項目	認定のポイント
パーパス／バリューの実践 顧客や社会に提供した価値はなにか (可能な限り定量化) どんなバリューを発揮したか	妥当性
リスクの評価 製品環境アセスメント、レピュテーションなどさまざまな観点から評価した際にどんなリスクがあるか	第三者から見たリスクの観点
売上計画 売上計画やシェア	将来性／インパクト
SDGsとの関連性 17のゴール・169のターゲットにどう貢献するのか、SDGsの本質につながっているか	世界共通のゴールとの関連性 (将来性含む)

認定のプロセス

[P90](#) / 「Resonac Pride 製品」に関する大学教授との対話

2022年までは社内で製品・サービスの認定を実施していましたが、今後は第三者に入っただき、客観性・透明性を高めていきます。第三者には投資家や有識者、顧客、次世代メンバーなど、さまざまなステークホルダーの参画を予定しています。



事業を通じたSDGs達成への貢献

循環型社会を目指す共創型化学会社として、SDGsの12番と17番への貢献を当社の企業活動の中心とし、事業・製品を通じた取り組みのゴール、土台に事業基盤を通じて自らが取り組むゴールを下記のように位置づけています。すでに取り組んでいる領域はもちろんのこと、その先の「化学の力で実現したい未来」への貢献を目指します。



黒鉛電極による高度循環型社会に向けた鉄リサイクルと温室効果ガス削減

パーパスの実現 鉄リサイクルによる資源循環、水力発電・風力発電・利用による温室効果ガスの削減

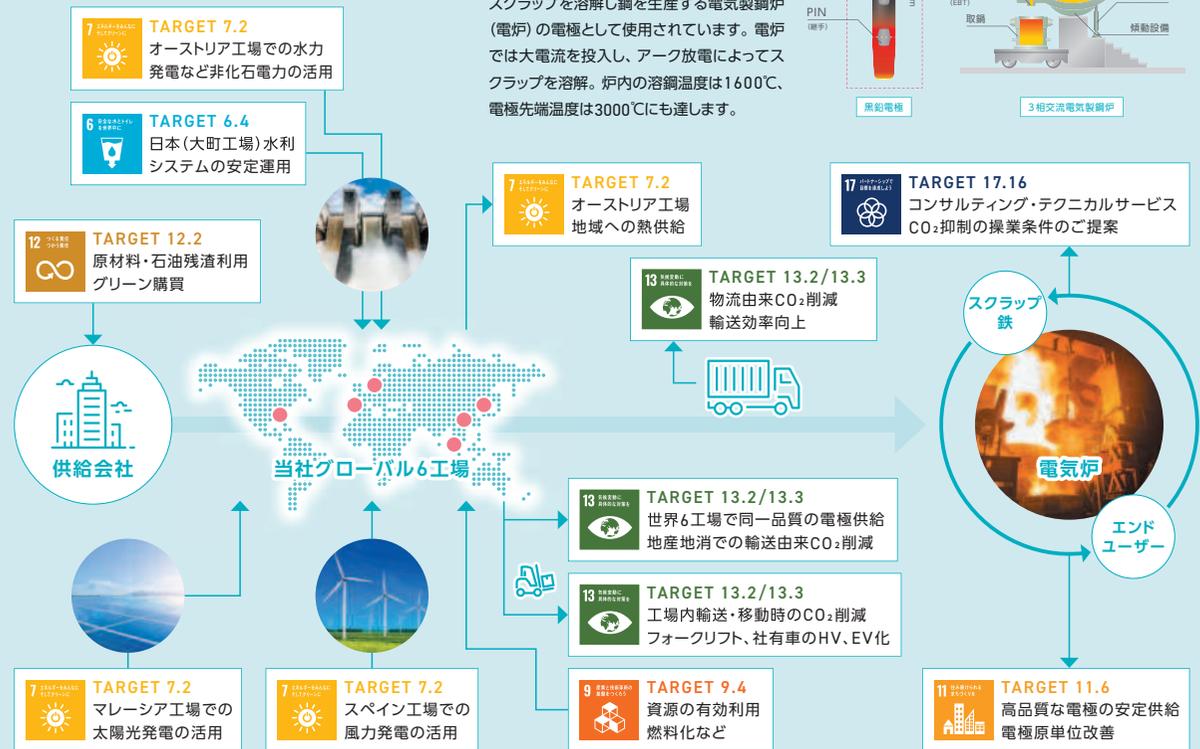
社会のインフラを支える重要な材料である鉄を鉄鉱石から製造するプロセス(高炉法)は最も大きなCO₂排出源の一つですが、鉄スクラップを溶解してリサイクルする電炉法はCO₂排出を1/4とすることができ、持続可能な社会にとって重要なプロセスです。当社はその電炉法に欠かせない黒鉛電極材料のグローバルナンバーメーカーであり、世界6工場で製造された安定かつ高品質な黒鉛電極を各国の鉄鋼メーカーに地産地消で供給しています。現在、この6工場での電極グリーン化に取り組んでおり、黒鉛電極製造プロセスでGHGを排出させないため、欧州の工場では水力発電、風力発電による100%グリーン電力化を進めています。さらに、マレーシア工場では工場屋根に太陽電池を設置する取り組みも始めました。当社の黒鉛電極はこれからも鉄製品のリサイクルを通じて人々の生活基盤を支えていきます。

☑ P85/ケミカルセグメント

バリューの発揮 地域社会との共創

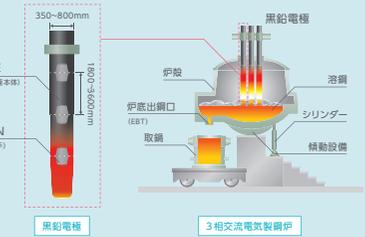
国内事業所のある大町市は雪解け水の水温が低いことが農業生産のネックとなっていました。当社は三つの水力発電所を含む全長36kmにもおよぶ利水システムを1954年から運用し、水温を高めてから灌漑用水に使用することにより広範囲にわたる地元農家への安定的な水供給と収穫量向上に貢献しています。また、オーストリアの工場では、電極焼成後の廃熱を有効に活用するため地域暖房ネットワークに提供し、地域全体のCO₂削減に貢献するなどグローバルで地域社会との共創に取り組んでいます。

グローバルでの共創内容



黒鉛電極とは?

車や建物など私たちに身近で生活に欠かせない「鉄」。その鉄をリサイクルするために使われているのが黒鉛電極です。黒鉛電極は、鉄スクラップを溶解し鋼を生産する電気製鋼炉(電炉)の電極として使用されています。電炉では大電流を投入し、アーク放電によってスクラップを溶解。炉内の溶鋼温度は1600℃、電極先端温度は3000℃にも達します。



ステークホルダーの声

オーストリア Bad Goisern市長 レオポルド・シルヒャー氏



オーストリア工場では電極焼成時の廃熱を有効活用し、地域暖房ネットワークに安定的に熱を供給しています。特にエネルギー危機下にある現状で、この地域熱供給は、300以上のパートナー企業や地元住民との一体感を高めています。このような取り組みを踏まえ、オーストリア Bad Goisern市長のレオポルド・シルヒャー氏からは、「Bad Goisern 市に、レゾナック グラファイトのような信頼できる企業がいてくれることを誇りに思っています。レゾナック グラファイトは、革新的なコンセプトで地域社会に福利をもたらしてくれています」というコメントをいただいています。

オーストリア Bad Goisern市長 レオポルド・シルヒャー氏(写真中央)

銅張積層板・ソルダーレジストによるデジタル社会への貢献と環境負荷低減

パーパスの実現 半導体用先端電子材料によるインフラ普及、
デジタル通信技術の進展と環境負荷低減

デジタル社会の進展に伴い、半導体を用いたデジタル通信技術は持続可能な社会発展のために必要不可欠です。当社は高機能な半導体用先端電子材料の供給を通じて、大量のデータを用いた新たなサービス・産業プロセスを実現するAI技術、次世代無線通信技術（5G、6Gなど）、自動車の安全性向上、移動サービスの向上と通信や交通インフラの普及、デジタル通信技術の進展、デバイスの省エネルギー化、環境負荷低減などに貢献しています。

バリューの発揮 銅張積層板、ソルダーレジストを用いた電子機器の
高機能化・省資源化とJOINT2による共創

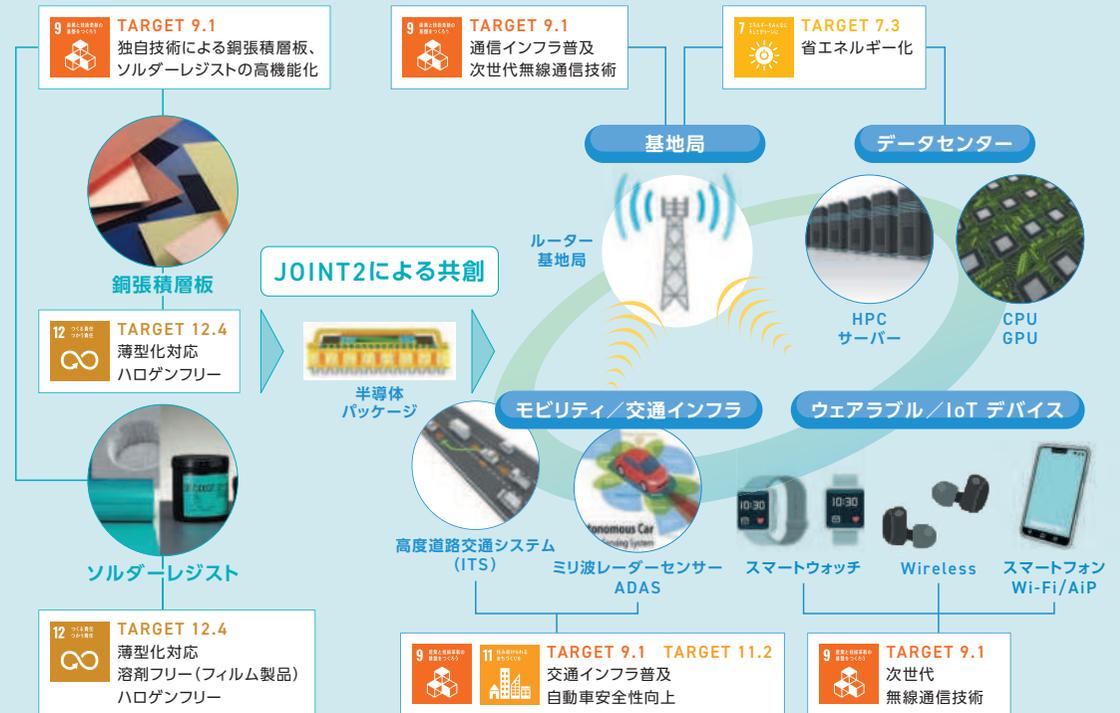
電子機器の軽薄短小化により、半導体デバイスの薄型化や高密度化に対応できる先端技術をタイムリーに開発し、デジタル通信技術の高度化を支えるとともに、環境負荷低減に貢献しています。ソルダーレジストは、従来の液状タイプだけでなく溶剤を含まないフィルム製品の開発により、お客さまの使用時での環境負荷を低減するとともに、薄型化による省資源化に寄与しています。また銅張積層板は、自社独自の合成技術による高性能基板材料を創出しており、電子機器の高機能化に寄与しています。また薄型パッケージに適用可能であるため、省資源化に貢献しています。またソルダーレジスト、銅張積層板ともにハロゲンフリーであり、環境負荷の低減にも寄与しています。

これらの材料はいずれもJOINT2において、参画企業と協働で次世代半導体パッケージの技術課題解決に貢献しており、サプライチェーンを通じた他社との共創を実現しています。

[P15 / パッケージングソリューションセンター](#) > [P78 / 半導体・電子材料セグメント](#)

また、当社の銅張積層板（MCL-E-705G,795G）は、2023年一般社団法人日本化学工業協会において総合賞を受賞し、科学技術の進歩に寄与した製品として評価されました。

半導体用材料によるデジタル社会への貢献



ステークホルダーの声

イビデン株式会社 経営企画本部 グローバル購買部 部長 泉 幸治氏

デジタルトランスフォーメーションが進む中で、データの活用領域は一層拡大し、それに伴うデータセンター投資の増加により、大型・高機能なICパッケージ基板の需要拡大が見込まれています。高機能化、省エネニーズにも対応した競争力あるICパッケージ基板を社会に供給するためには、信頼性の高い原材料の安定した供給が不可欠です。そり低減・平坦性に優れる銅張積層板や高信頼性をもつソルダーレジスト、フォテック*に代表される感光性フィルムにいたるまで、レゾナック様は当社のモノづくりを支えていただく重要なパートナーです。今後も信頼性の高い製品供給並びに当社内での生産効率改善による生産時のエネルギー消費・廃棄物発生削減に向けて連携を深めていければ幸いです。

* フォテックは当社の登録商標です。